

No. 1 - ① 武蔵野の公園で見られる春の草花



● **ヒメオドリコソウ** (姫踊り子草)
 ● 特徴: 葉に細かいシワが多い
 ● 花の大きさ: 約1cm
 2~4月にうすいピンク色の花がさきます。ヨーロッパから入って来ました。葉は赤むらさき色になることが多いです。



● **ホトケノザ** (仏の座)
 ● 特徴: 葉はくきをかこむ
 ● 花の大きさ: 約2cm
 3~6月にうすいピンク色の花が、立ち上がるようにさきます。葉の様子(ほとけ)が仏様が座るハスの葉(すわ)にていることから名づけられました。



● **カラスノエンドウ** (烏野豌豆)
 ● 特徴: まきひげがある
 ● 花の大きさ: 1~2cm
 3~6月に赤むらさき色の花がさきます。くきは毛があって四角く、実はえんどう豆のような形をしています。明るい草地でよく見られます。



● **ムラサキケマン** (紫華鬘)
 ● 特徴: 花の先の色がこい
 ● 花の大きさ: 1~2cm
 4~6月にむらさき色の花が、くきの先に集まってさきます。葉には細かい切れこみ(ちぎれこみ)がたくさんあります。光が直接当たらない、明るい林の下で見られます。



● **タチツボスミレ** (立坪菫)
 ● 特徴: 根元の葉はギザギザ
 ● 花の大きさ: 約2cm
 3~5月にうすむらさき色の花がさきます。葉はハートのような形をしています。アリがよくたねを運ぶので、明るい林やアリの巣の近くで見られます。



● **キランソウ** (金瘡小草)
 ● 特徴: 地面にへばりついてさく
 ● 花の大きさ: 約1cm
 3~5月にむらさき色の花がさきます。花びらは上下に分かれ、上の花びらは小さいです。木のかげなどで見られます。
 ● 花の色ごとにいらんでいます



● **セリバヒエンソウ** (芹葉飛燕草)
 ● 特徴: 花の後ろが細くのびる
 ● 花の大きさ: 約2cm
 4~5月にうすむらさき色の花がさきます。中国の花で、葉がセリに、花がとんでいるツバメにていることから名づけられました。明るい草地に生えます。



● **フデリンドウ** (筆竜胆)
 ● 特徴: つぼみはふでのよう
 ● 花の大きさ: 5~10cm
 4~5月に青むらさき色の花がいくつか集まってさきます。明るい林の下や草地で見られ、日が当たらないと花は開きません。

ふしぎ **花の色の不思議**

春になって、たくさんの花が咲き始めました。花の色を見ると、ほとんどが黄、白、青、紫のようです。色の種類はたくさんある中で、なぜでしょう。

実は、この4色は虫にとって見やすい色なのです。その中でも一番良く見えるのが黄色。黄色い花粉が多いのは、たくさんの虫に見つけてもらうためかもしれません。

一方、赤は多くの虫にとっては見えにくい色ですが、アゲハチョウの仲間は見えるそうです。どんな色の花に、どんな虫が来ているか。そんなところに注目して、観察するのも面白いですね。

No. 1 - ① 武蔵野の公園で見られる春の草花



● **カントウタンポポ**
(関東蒲公英)

- 特徴：花の下はカップがた
- 花の大きさ：3~5cm

3~5月に黄色い花がさきます。花びらのようなもの1つ1つが花で、1000ほど集まっています。林の中の日が当たる場所などで見られます。



● **コオニタビラコ**
(小鬼田平子)

- 特徴：葉が大きく切れこむ
- 花の大きさ：約1cm

3~5月に黄色い花がさきます。葉はくびれがあり、横にひろがってのびます。公園のしめった場所や草地で見られ、春の七草ではホトケノザとよばれます。



● **ハハコグサ (母子草)**

- 特徴：花は糸玉のよう
- 花の大きさ：2~6mm

4~6月に黄色い花が集まってさきます。葉やくきに毛が生えて白っぽく見えます。日当たりのよい草地で見られ、春の七草ではゴギョウとよばれます。



● **ヘビイチゴ (蛇莓)**

- 特徴：実の白い地が目立つ
- 花の大きさ：約1.5cm

4~6月に黄色い花がさきます。花の下につくガクの、外がわにある副ガク片は目立ちません。日当たりのよい草地で見られます。



● **ヤブヘビイチゴ (藪蛇莓)**

- 特徴：実はいちご色
- 花の大きさ：約2cm

4~6月にヘビイチゴとよく似た花がさきます。副ガク片が大きく、目立ちます。木のかげなど少しくらい草地で見られます。



○ **ハコベ (繁縷)**

- 特徴：花びらが深く切れこむ
- 花の大きさ：1~2cm

2~9月に白い花がさきます。花粉が出る前は、おしべの先がピンク色をしています。くきは緑色です。明るい草地でよく見られます。



○ **ナズナ (薺)**

- 特徴：実はハートがた
- 花の大きさ：約3mm

3~6月に白い花がさき、ぺんぺん草ともよばれます。実は下から上へできます。葉は大根の葉を小さくしたような形です。明るい草地や道ばたで見られます。



○ **ツボスミレ (坪菫)**

- 特徴：花びらにむらさき色の線
- 花の大きさ：約1cm

4~5月に白い花がさきます。細長くくきが立ち上がって花をつけ、ニョイスミレとも呼ばれます。少ししめった林の下などに集まってさいています。



● **キュウリグサ (胡瓜草)**

- 特徴：花の真ん中が黄色
- 花の大きさ：約2mm

3~5月に水色の小さな花が、くきの先に集まってさきます。花は短くくきの先につき、つぼみの時には、くきが丸まっています。



● **オオイヌノフグリ**
(大犬陰囊)

- 特徴：2本のおしべが目立つ
- 花の大きさ：3~5mm

3~6月に青い花がさきます。ヨーロッパから入った花で、日当たりのよい草地で見られます。花びらは根元でくっついていて、ちる時は丸ごと落ちます。

● ミニ図鑑にのっていない春の七草：セリ、スズシロ (大根)、スズナ (カブ)

©西武・武蔵野パートナーズ レンジャー部

むさしの都立公園

検索